

# 環境保全・再生用ブロック

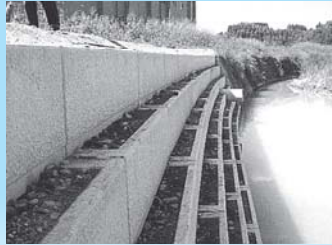
## マザーズブロックⅡ型

NETIS登録 QS-040012

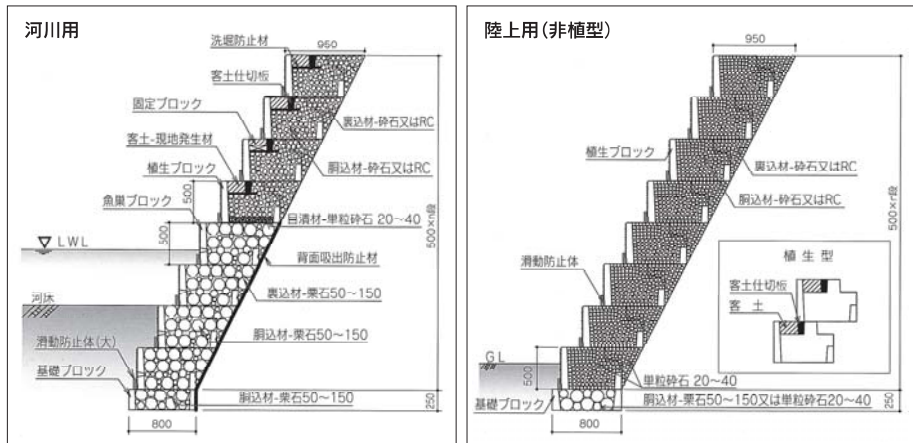


### 特長・ポイント

- 本工法は壁体総重量と胴込材(砕石類)の摩擦力及び滑動防止体で土圧に対抗する水平積み構造です。
- 環境面においては平常水位以下では魚巣空間を、以上では植生空間を創出して河川の生態系を支える生息環境を保全・再生します。
- また、本工法の優れた施工性は工期を大幅に短縮し、災害復旧工事等にも最適です。
- 滑動安全性の向上  
従来までの壁体総重量と胴込砕石の摩擦力に滑動防止体を設置して滑動安全性を高めます。
- 胴込材の洗掘・流出防止対策
  - 1、客土が流出した場合は洗堀防止材で胴込材の流出を防ぎます。
  - 2、胴込材流出の危険性がある水衝部等では魚巣部に梁体を設置して栗石の流出を防ぎます。



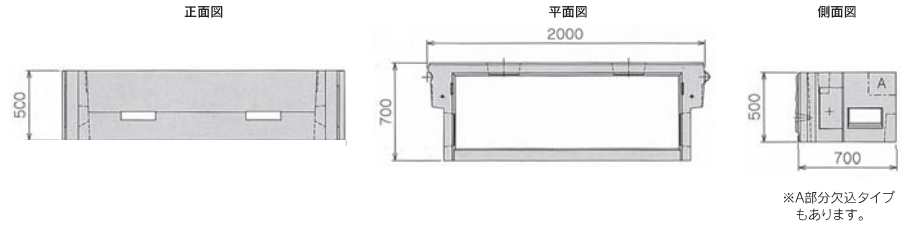
### 標準施工断面図



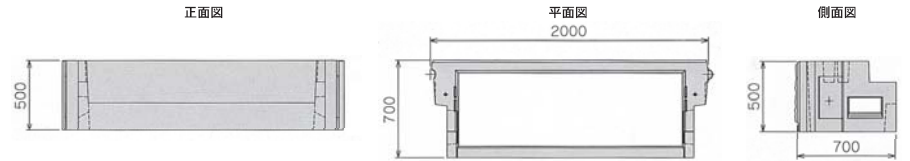
- ・水衝部等では魚巣ブロックに梁体を設置して胴込栗石の流出を防ぎます。
  - ・植生ブロックの胴込材にクラッシュランを使用する場合、目溜材は単粒砕石20~40を使用ください。
  - ・植生ブロックの胴込材に単粒砕石を使用する場合、目溜材は不要です。
  - ・魚巣ブロックの背面は必ず吸出し防止材を縦張りにて設置します。
  - ・9段目より下段の胴込材・表込材には単粒砕石20~40を使用します。
  - ・客土仕切板を設置すると植生型になります。
  - ・吸出し防止材、固定ブロックは不要です。
- ※RC=再生クラッシュラン

### 製品寸法図

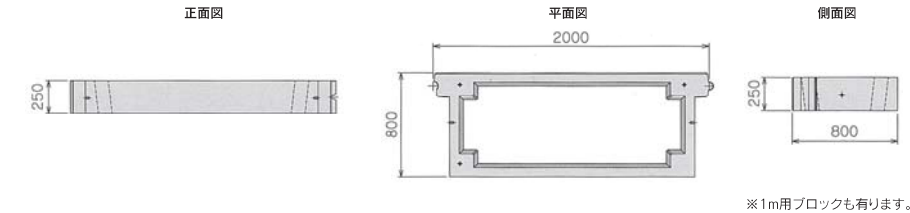
#### 魚巣ブロック(2m用)



#### 植生ブロック(2m用)



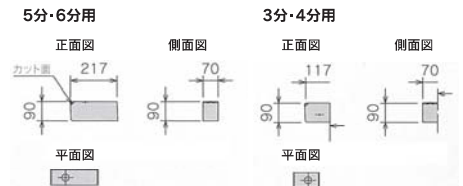
#### 基礎ブロック(2m用)



#### 客土仕切板(2m用)



#### 固定ブロック

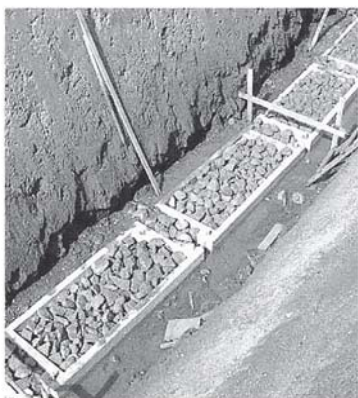


マザーズブロックⅡ型参考重量表

3~5分勾配用

名称	L=2000		L=1000	
	体積 <sup>m³</sup>	重量 <sup>kg</sup>	体積 <sup>m³</sup>	重量 <sup>kg</sup>
基礎ブロック	0.122	286	0.079	185
魚巣ブロック	0.168	394	0.109	256
植生ブロック	0.165	387	0.107	252
客土仕切体(梁体)	0.015	35	0.006	14
固定ブロック	0.00135	3	0.0007	2

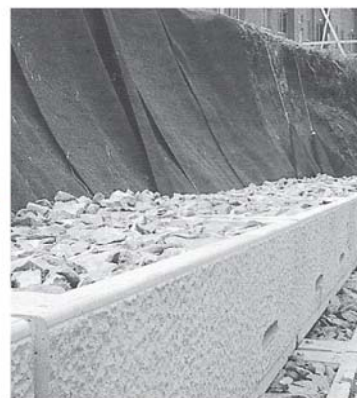
## ● 施工手順



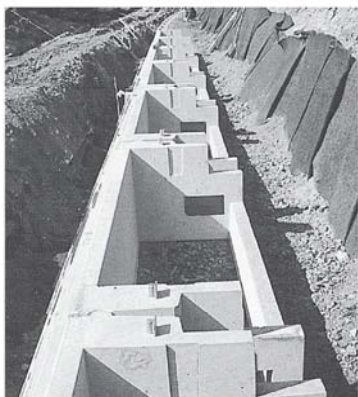
1 基礎ブロック-胴込材充填



2 魚巣ブロック据付



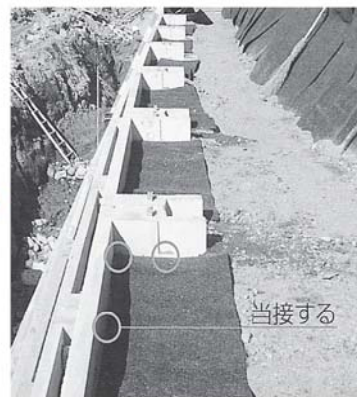
3 胴込・裏込材の一括充填



4 植生ブロック据付滑動防止体セット

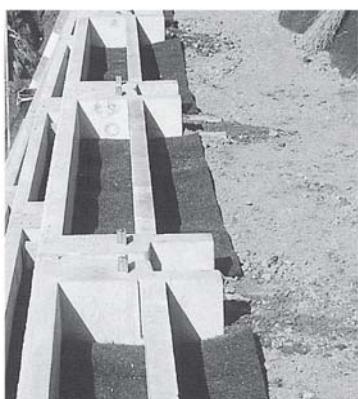


5 下層部-胴込材・裏込材の一括充填・転圧

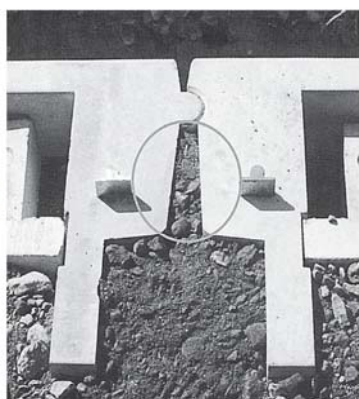


6 洗堀防止材布設

※防止マットはブロック内壁に  
当接して布設します

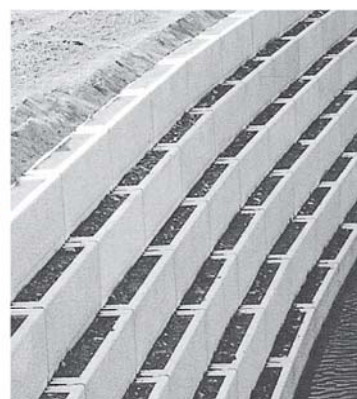


7 客土仕切板セット



8 上層部-胴込・裏込材の一括充填

※○部分の充填は確実に行ってください。



9 客土一括投入

※客土材は雑草混じりの土が望ましい  
投入後は踏固めて下さい